

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

3 2回目評価

					自己評価	学校関係者評価
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成27年2月16日
					評価者・組織	学校評価委員会
1 確かな学力	自分の言葉で自分のおもいや考え方を表現	国語科での言語活動のさらなる充実、各学級年2回の授業研究	児童の話す・聞く態度の変容・ジョイントプログラムの結果	ジョイントプログラム国語の正答率が全市平均より上まわっているが、学校平均正答率は前回より下がっている。	分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策
	わかる授業の創造	算数の複数指導体制	解答に至るまでの自分の考え方を表現	ジョイントプログラム算数の正答率が全市平均より上まわっているが、学校平均正答率は前回より下がっている。	⇒	・言語活動の充実により主体的な授業づくりや読書の質にも効果が出てきている。 ・自分の思考の流れを図や表を使って説明できつつある。 ・適切な家庭学習の課題を選択し、積極的に取り組む児童が増えてきた。
	家庭学習の習慣化	自分で考えた課題に取り組む家庭学習	日々の家庭学習の確認	家庭学習は、87.2%の児童ができていると回答している。	⇒	・国語の学習で、並行読書などの手法をさらに充実させていく。 ・自分の考えを説明する取り組みをさらに充実させる。 ・家庭学習の時間や学習内容など児童一人一人に合った「自学自習のすすめ」の指導を進めいく。
2 豊かな心	豊かな体験活動の実践	総合的な学習の時間における福祉教育の充実	総合的な学習の時間における福祉教育の学習成果	日常的に、子どもたちが人に対してやさしく接する姿が見られる。	⇒	・福祉教育を通して、弱い立場の人々やいろいろな立場の人になって考えられるようになってきた。 ・言葉づかいに関しては、相手意識が不十分である。 ・たてわり活動を通して、上級生が下級生にやさしく接することができている。
	望ましい言葉づかいの徹底	学級だより、学校だよりによる啓発活動	日々の児童の様子を検証	学習中はしっかりできているが、他の場面では乱れていることがある。	⇒	・いろいろな人々とふれ合う体験活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させる。 ・子どもたちを取り巻く言葉づかいの環境が適切なのか、教職員も見直していく。 ・地域行事への参加を推奨する。
	豊かな心の育成	・たてわり活動の推進 ・元町ふれあい土曜塾への参加	元町ふれあい土曜塾への参加状況	いろいろな場面で、上級生が下級生にやさしく接することができている。	⇒	・「出会い・ふれあう」ことの大切さを感じている。さらに、「出会い・ふれあう」場面を数多く設定していく。 ・学習の中だけでなく、正しい言葉づかいのシャワーを浴びられる環境づくりに努めていく。
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ	早寝・早起き・朝ごはんなどの生活アンケート	学年が上がるに従つて、就寝時刻が遅くなっている。	⇒	・学力向上には十分な睡眠が必要である。睡眠時間の確保の重要性について、保護者へ発信していく。 ・体力づくりは、継続させていくことが課題である。
	体力づくり	・運動部活動の実施 ・朝マラソンの取り組み	めあてを明確にした朝マラソン・なわとびの実施状況	約半数の児童が運動部活動に参加している。	⇒	・基本的生活習慣の確立には、個々の子どもの課題に応じた取り組みが必要。保護者の理解を得て、家庭と学校が協力して取り組んでいく。
4 独自の取組	百人一首	毎週月曜日のモジュールタイム(基礎基本の時間)での取り組み	学級や全校集会でのカルタ大会	上の句を聞いただけで、下の句のカルタを取る子どもが増えてきた。	⇒	・伝統文化を守ろうとする意欲や地域を愛する気持ちにつながってきてると実感している子どもが増えてきている。 ・HPのアクセス件数から、学校に目を向けていたいしている保護者や地域の皆様が着実に増えつつある。
	伝統文化	地域人材の活用	総合的な学習の時間における伝統文化の学習成果	学習を通して、伝統文化に興味・関心が増してきたようである。	⇒	・百人一首のカルタ大会を工夫していきたい。 ・伝統文化に携わっておられる地域の方々をもっと発掘していきたい。 ・HPは、さらに学校が変わっていく様子がよくわかるように内容の充実を図っていきたい。
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	学校ホームページへのアクセス数	年間23,000回を超えるアクセス数	⇒	・カルタ大会以外に百人一首の学習成果を発表する場を工夫していきたい。 ・地域の方々に指導者となっていたいしているので、地域を愛し、地域を誇りに思う子どもに育つつある。

4 総括・次年度の課題

百人一首の取り組みについては、当初、小学生には難しいのでは…？というご意見もありましたが、取り組み始めて4年になります。子どもたちも普段、使わないことばや抑揚に興味を示し、どの学年の子どもも楽しそうに取り組んでいる姿が見受けられます。毎週月曜日の基礎基本の時間に一首ずつ取り組んでくんできました。今では、3年生以上の学年は全て学習し終えました。今年度のたてわりグループで全校百人一首カルタ大会では、1年生の児童でも、上の句を聞いただけで下の句のカルタをとる児童もいて、高学年児童と対等に競っていました。百人一首の取り組み以外にも、伝統文化に携わっておられる地域の方々をもっと発掘していき、地域を愛し、地域を誇りに思う子どもに育てていきたいと思います。伝統文化の取り組みは、元町小学校の特色ある取り組みとして、さらに発展させていきたいと考えています。

HPIについては、積極的に更新しています。アクセス件数も右肩上がりで伸びています。学校に目を向けていただいている保護者や地域の皆様が着実に増えつつあると実感しています。本校の取り組みへの期待の表れと捉えています。また、学校評価を通じ、保護者や地域の方に本校の教育活動についての理解を深めていただくことができたと思っています。次年度は、評価を活かせるよう、家庭・地域との連携をより一層深め、さらに学力向上に向けて、家庭学習、自主学習の習慣化や基礎基本の定着など具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。そして、信頼関係の構築のためにも、学校評価、研究課題はじめ、様々な課題・情報の共有化が十分になされていたかどうかなど、しっかりと反省、検証して次年度への意識改革へとつなげていきたいと考えています。